

愛媛新聞(12月26日)に掲載されました。

# 松山赤十字病院装い新た

## 7年かけ 環境配慮 災害に強く

約7年間に及ぶ建て替え工事が完了した松山赤十字病院(松山市文京町)で25日、グランドオープンセレモニーがあり、関係者ら約40人が新たな船出を祝った。施設の老朽化などに伴い、2015年から新病院の建設事業に着手し、18年1月に北棟(地上6階・地下1階)、21年3月に南棟(地上10階・地下1階)が開院した。今回第3期として外構工事部分の平面駐車場とロータリーなどが完成し、全ての工程が終了した。同病院によると、新病院は手術室に最新の医療機器を備え、より高度で専門的

な医療が可能になった。太陽熱集熱パネルなどを設置して環境に配慮したほか、免震装置を導入し、ことで災害に強い病院として生まれ変わったという。

セレモニーでは西崎隆院長が「感無量。これからも勇んで困難に挑戦し、新しい病院の歴史をつくっていききたい」とあいさつ。関係者らがテープカットすると、会場は大きな拍手に包まれた。

19年3月に幕を閉じた松山赤十字看護専門学校閉校記念碑除幕式もあり、列席者は長年の功績に思いをはせていた。(増田有梨)



㊦建て替え工事が完了した松山赤十字病院㊦新病院のグランドオープンを祝い、あいさつする西崎隆院長―いづれも25日午前、松山市文京町

掲載許可番号：d20230123-02